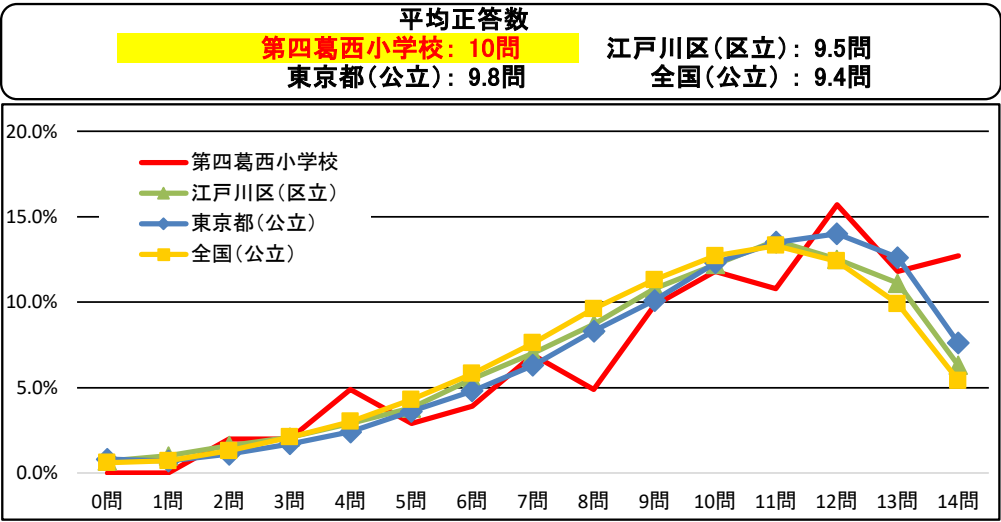


令和7年度全国学力・学習状況調査 結果分析表【国語】江戸川区立第四葛西小学校

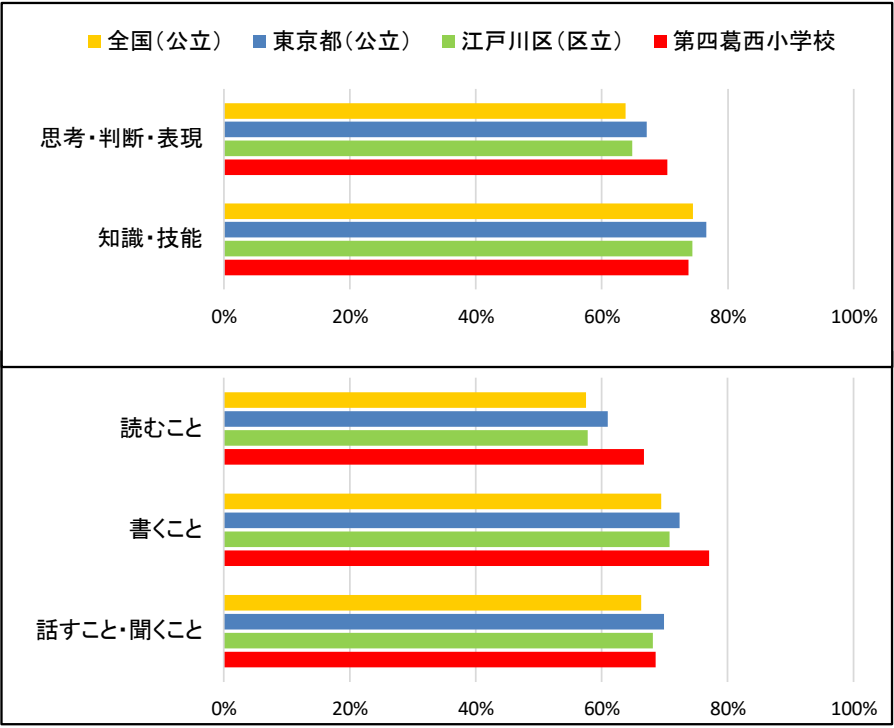
正 答 数 分 布



【平均正答率の差】

第四葛西小学校	71%
江戸川区(区立)	68%
東京都(公立)	70%
全国(公立)	66.8%
都との差(ポイント)	1.0

「領域別」の結果

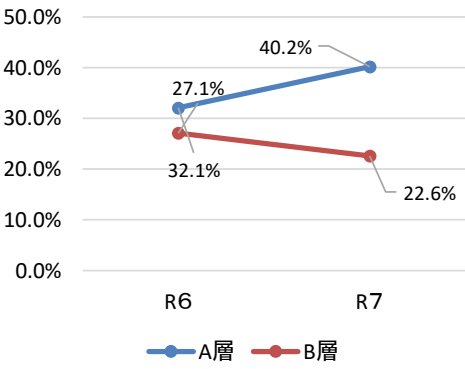


四 分 位 に お け る 割 合 (都 全 体 の 四 分 位 に よ る)

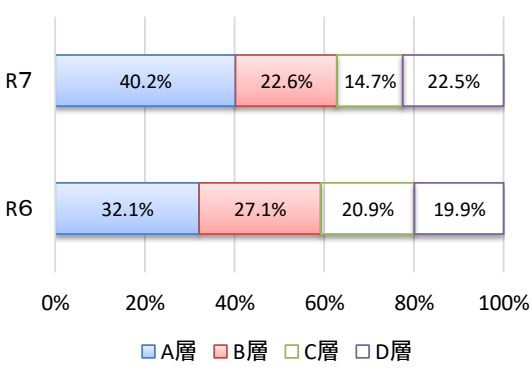
国 語	上 位 ← → 下 位			
	A 層 12～14問	B 層 10～11問	C 層 8～9問	D 層 0～7問
第四葛西小学校	40.2%	22.6%	14.7%	22.5%
江戸川区(区立)	30.0%	25.8%	19.5%	24.7%
東京都(公立)	34.4%	25.8%	18.4%	21.4%
全国(公立)	27.7%	26.0%	20.9%	25.4%

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

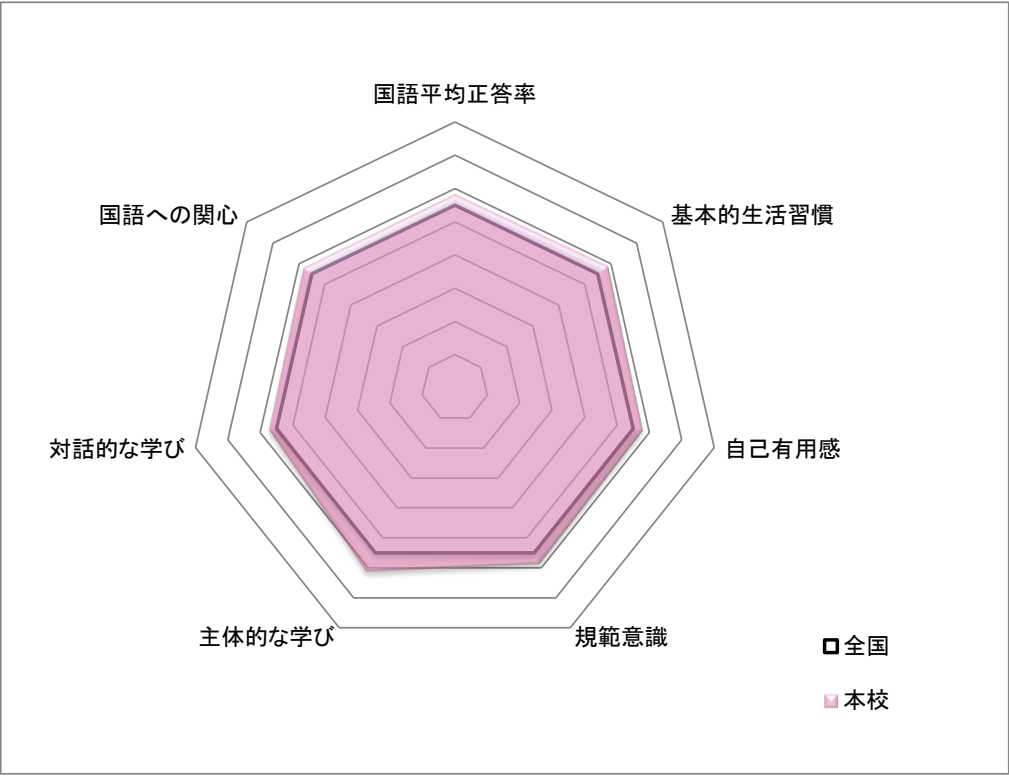
AB層割合の推移



AB層割合の前年度比



各 領 域 に お け る 、 全 国 平 均 正 答 率 及 び 、 全 国 の 肯 定 的 回 答 合 計 値 を 基 準 と し た 場 合 の 、 本 校 の 様 子 。



《チャートの特徴》

- ・全ての項目において、全国平均の割合を上回っている。
- ・全体的に見ると、主体的な学びについては割合が高い。
- ・全体的に見ると、対話的な学びについては割合が低い。

《家庭・地域への働きかけ》

- ・基礎的、基本的な知識の定着を図るために、家庭学習の習慣が身に付くよう家庭で指導をお願いしている。

《現状把握》

- AB層の割合と取組内容について
- ・AB層を合計すると62.8%である。この割合は、江戸川区、東京都、全国平均を上回る数値である。
- ・経年で見ると、A層は上昇傾向にあるが、B層は下降傾向である。
- ・A層は江戸川区、東京都、全国平均を上回る割合であるが、B層は下回る割合である。

《学校の取組》

- ・教員の指導力向上
- ・1、2年生が定期的な交換授業を、3年生以上が教科担任制を実施している。
- ・授業公開週間を設け、全教員が、年間に最低3回から4回程度は授業公開を行っている。授業公開後は、Microsoft Teamsを活用し、意見交換を行っている。
- ・教科研究班をつくり、定期的に教科の専門性が高い指導法について議論している。

・基礎学力の保障

- ・金曜日の朝の時間に、よむYOMUワークシートに取り組む時間を設定し、国語の読解力を高めるための取り組みを行っている。
- ・火曜日と木曜日の朝の時間に朝読書の時間を設定している。
- ・全学年で計画的に漢字小テストを実施している。

・学習習慣の確立

- ・本校独自の学び方スタンダードを設定し、徹底できるよう指導している。
- ・学年×10分程度の家庭学習を出している。
- ・金曜日にタブレット端末を活用したドリルパークの宿題を出し、家庭に協力を仰ぎ、確実な実施ができるようにしている。

・AB層の育成

- ・学習したことを使って取り組む習熟の時間や、活用の時間を十分にとる指導と評価の計画を立てよう努めている。
- ・タブレット端末を活用し、効率よく記述内容を把握し、形成的評価を行えるよう努めている。